

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 028	提案機関名 一般社団法人神奈川県養豚協会
要望問題名 ブランド戦略のための「神奈川の豚」	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 今後のブランド戦略のためには、消費者にアピールできる、また、神奈川で飼養しやすい、特徴のある「神奈川の豚」が必要となってくる。 そこで、県民が求める豚・豚肉の特徴（肉質・物語等）を把握し、その特質を備え、神奈川で飼養しやすい（肉質・発育速度・飼料等級率・給与飼料等）、止め雄用も含めた新たな「神奈川の豚」の作出を検討願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立（平成15～令和3年度） 多産系母豚の飼育管理技術の確立（平成29～令和2年度） 系統豚を利用した改良型種豚の開発（平成29～令和3年度）		
対応の内容等	豚肉生産におけるブランド戦略は、収益に大きな影響をもたらすと考えられ、消費者にアピールできる豚肉を生産するための種豚供給は県試験機関の重要な役割と考えております。一方、県内養豚農家は、それぞれがこだわりのある豚肉を生産し、農場ごとに特徴をもった種豚を飼養しています。御要望にあります“「神奈川の豚」の作出“を検討するにあたり、養豚農家が求める豚の具体的な特徴の整理、作出方法など検討が必要な事項は多く、施策的な内容も含まれていますので畜産課に報告します。 なお、当所では、ランドレース種系統豚ユメカナエルに加え、令和2年度から繁殖成績の向上を目的としてユメカナエルと民間雄との交配により作出した改良型種豚を供給しています。また、多産系母豚を活用した肉豚生産試験では、雄系（国内流通デュロック）の違いによる肉質（背脂肪厚、脂肪交雑、柔らかさ、食味評価等）の比較調査を行っており、止め雄の違いによって特徴のある肉豚生産が可能であることが明らかになっておりますので、成績を肉豚生産の基礎データとして御参考としていただき、改良型ユメカナエルの利用と併せて、ブランド戦略に御活用いただきたいと思います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			